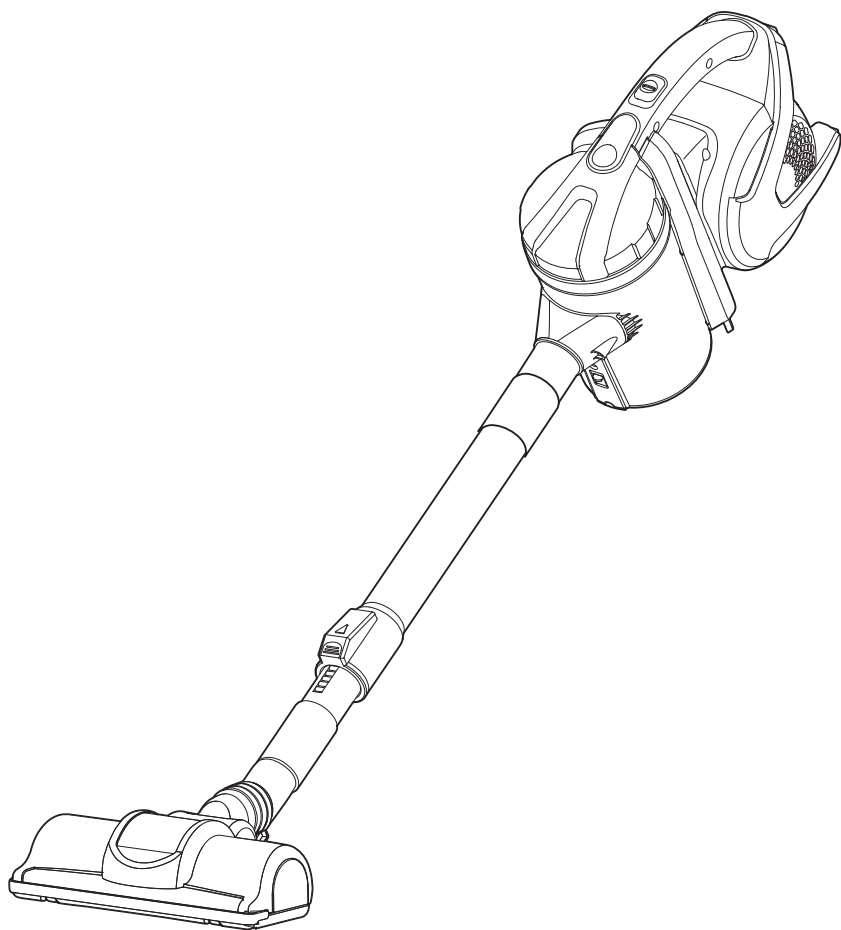


3WAYスティック クリーナー IC-S55KF

取扱説明書



保証書付

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用前の準備	5

掃除のしかた

使いかた	6
収納のしかた	9

掃除のあとに

ゴミの捨てかた	10
お手入れのしかた	11

こんなときには

故障かな？と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。



警告

 禁止	● 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない ● 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない ショート・感電・故障の原因になります。
	● 絶対に分解・修理・改造はしない 発火・けが・異常動作の原因になります。
	● めれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない 発火・ショート・感電の原因になります。
	● 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない ● 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	● 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない 火災の原因になります。
 必ず実施	● 異常・故障時にはすぐに使用を中止する ・スイッチを「入」にしても運転しない ・運転中ときどき止まる ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする ・本体が変形したり、異常に熱い ・こげくさい「におい」がする ・運転中に異常な音がする 発煙・発火・感電のおそれがあります。すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールへ点検、修理を依頼してください。
	● 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う 火災・感電の原因になります。
	● 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る 湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
	● 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む 発火・ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

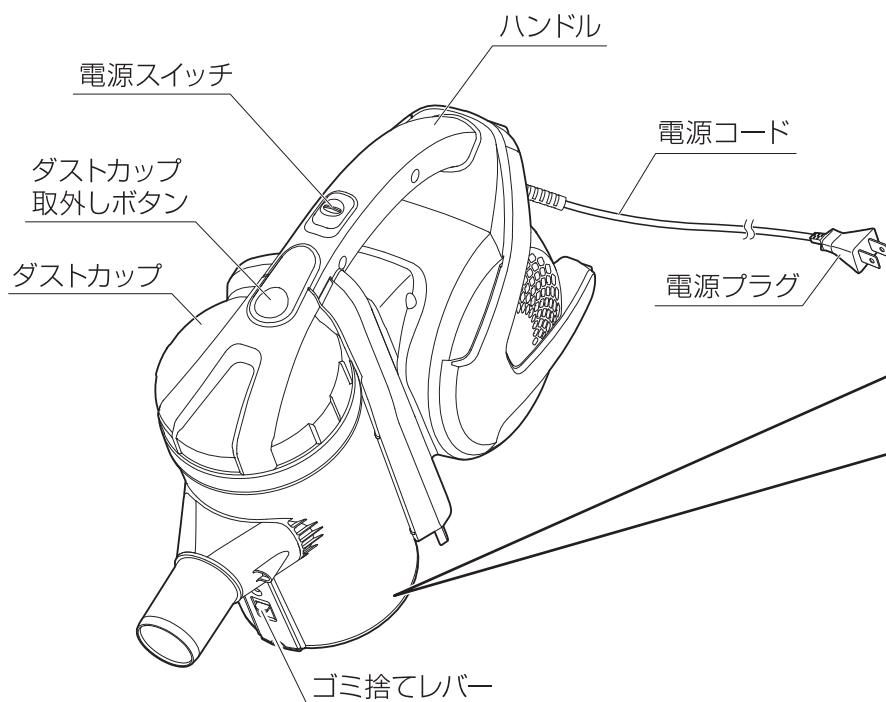
 禁止	●火気に近づけない 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	●吸込口をふさいで長時間運転しない ●排気口をふさがない 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	●フィルターは必ず取り付ける ●破れたり、破損したフィルターは使わない 故障・性能低下の原因になります。
	●本体にはのらない。子どもには遊ばせない けがや本体破損の原因になります。
	●運転中にダストカップ取外しボタンを押さない けがや本体破損・故障の原因になります。
 必ず実施	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
	●持ち上げるときは、必ず本体ハンドルをもつ 本体が落下して、けがや床にキズがつく原因になります。

使用上のお願い

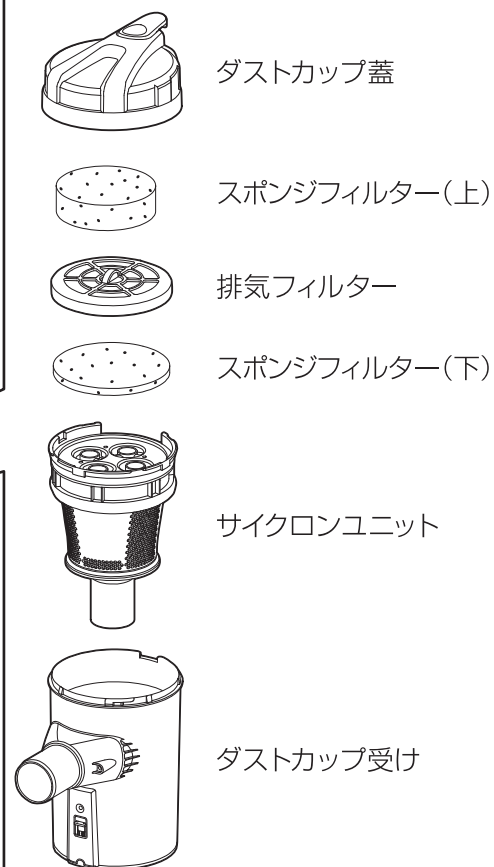
- この掃除機は室内用です。屋外では絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やパイプの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズル・小型ブラシ・ふとんヘッドを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。また、本体や延長パイプを無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。本体を落としたり、ダストカップが脱落したりして、けが・破損・故障の原因になります。
- 本体及びハンドルは、使用中、モーターの発熱により温かくなりますが異常ではありません。
- ダストカップ内のゴミは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。

各部の名称

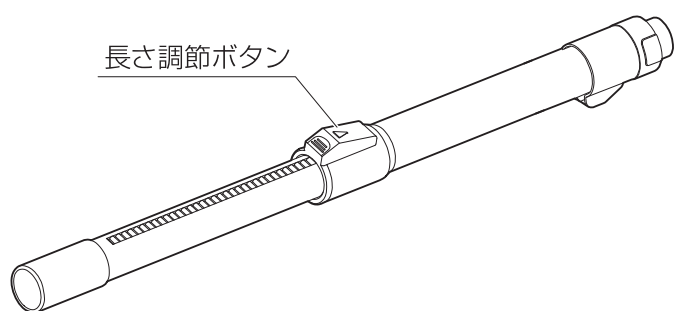
■本体



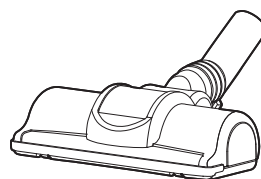
ダストカップ構成部品



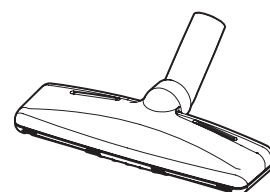
■付属品



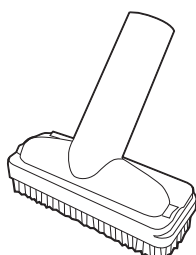
延長パイプ



フロアヘッド



ふとんヘッド



小型ブラシ



すきまノズル

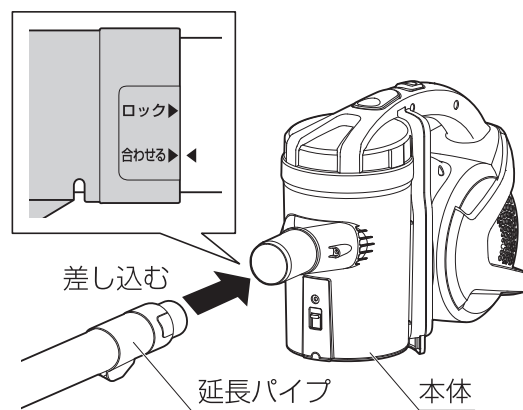


取扱説明書(本書)

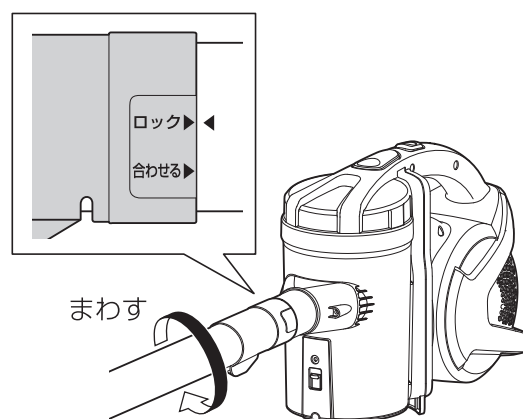
ご使用前の準備

1 本体に延長パイプを取り付ける

①延長パイプの「合わせる▶」と本体の「◀」を合わせて、差し込みます。

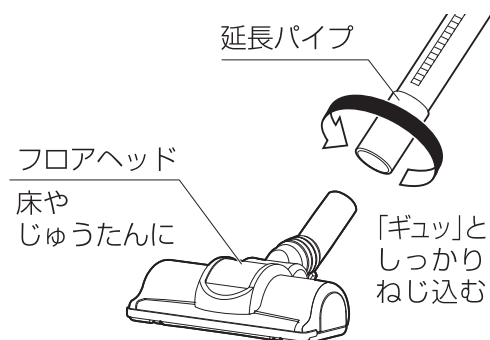


②延長パイプの「ロック▶」と本体の「◀」の位置が合うまでまわします。

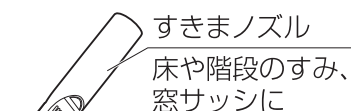


2 フロアヘッドを取り付ける

フロアヘッドを延長パイプに取り付けます。



本体に直接フロアヘッドやふとんヘッド、すきまノズル、小型ブラシを取り付けてハンディとしてもお使いいただけます。



※先端を回転させてブラシを出すことができます。



※ブラシ部分はスライドさせて取り外せます。



使いかた

■基本の使いかた

⚠ 注意

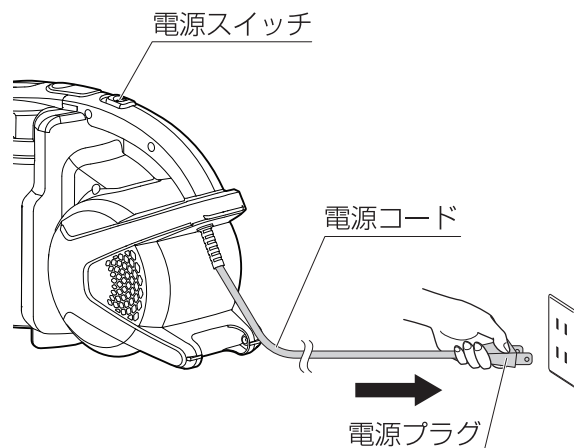
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸込力の低下や詰まりの原因になります。
- フィルターやパイプが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが過熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。

1 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。

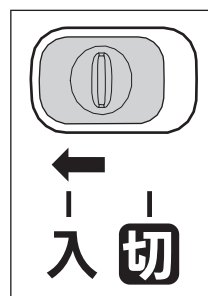
⚠ 注意

- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、必ず電源スイッチを「切」にしてから差し込んでください。



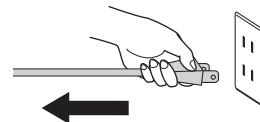
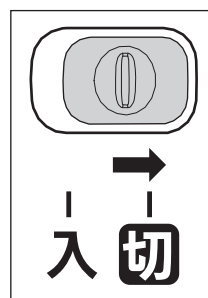
2 電源を入れる(運転開始)

電源スイッチをスライドさせて電源を入れます。



3 電源を切る

電源スイッチをスライドさせて電源を切ります。
その後、電源プラグをコンセントから抜きます。



⚠ 注意

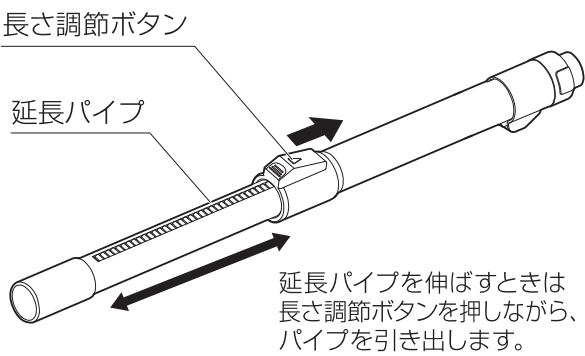
- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- ご使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。

■延長パイプの使いかた

※運転中吸い込み口をふさいだ状態で長さ調節ボタンを押さないでください。
延長パイプが急に縮み、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 延長パイプを調節するときは、安定した場所で行なってください。無理な体勢や、不安定な状態で行なうとけがや機器破損の原因になります。

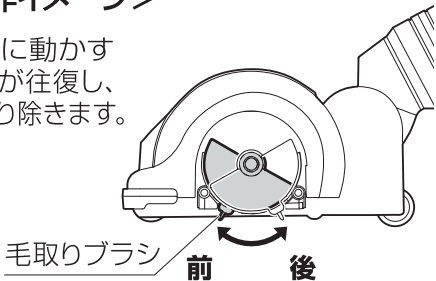


■フロアヘッドについて

当社独自の毛取りブラシが、じゅうたんについたペットの毛などをきれいに取り除きます。

<フロアヘッド動作イメージ>

フロアヘッドを前後に動かすことで、毛取りブラシが往復し、じゅうたんのゴミを取り除きます。



たたみ、フローリングのお掃除

たたみの目や、板目にそって軽くすべらせるようにお掃除してください。
床やたたみの傷つき防止になります。

フローリングでは――

毛取りブラシは可動せず、毛取り機能は働きません。

たたみでは――

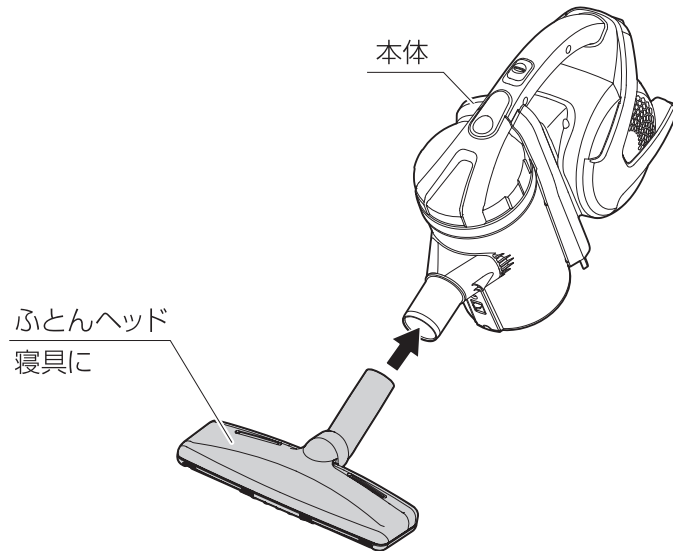
毛取りブラシは前後に可動しますが、毛取り機能は働きません。

	カーペット	フローリング	たたみ
毛取りブラシ	○ 可動	× 動かない※	○ 可動
毛取り機能	○	×	×

※フローリングのお掃除では、使い初めにブラシが数回可動することがあります。

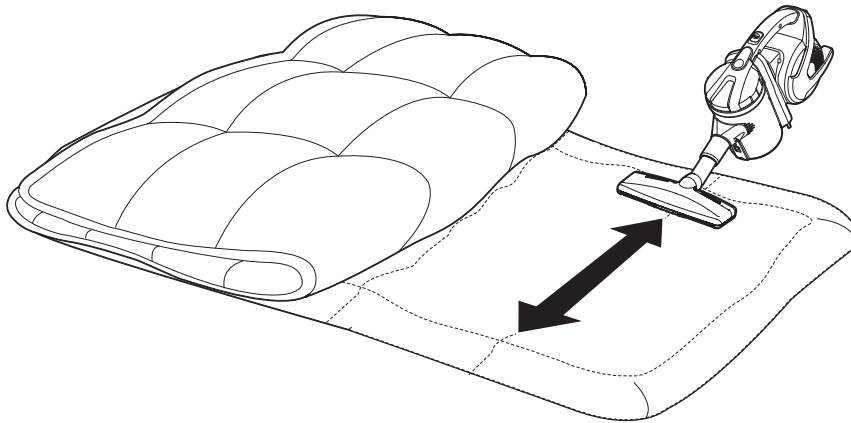
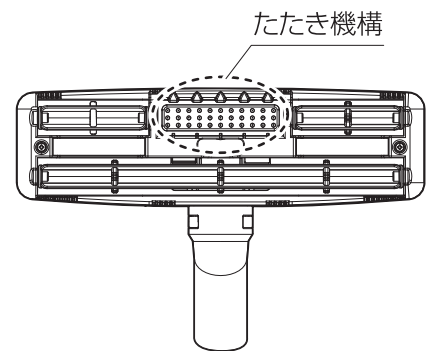
■ふとんヘッドについて

本体に取り付けます。
延長パイプにも取り付けられます。



ふとんの上で前後に動かしながら使用します。

- ・前後に動かすことでたたき機構が動作します。
- ・寝具の生地を傷める恐れがあるため、強く押し付けしないでください。



注意

- 掃除の際、床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。
キズがついたり破損する原因になります。

収納のしかた

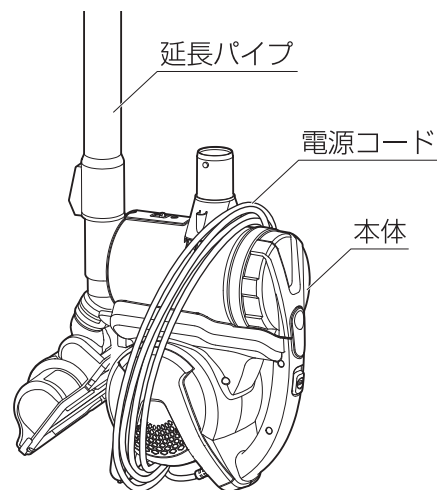


注意

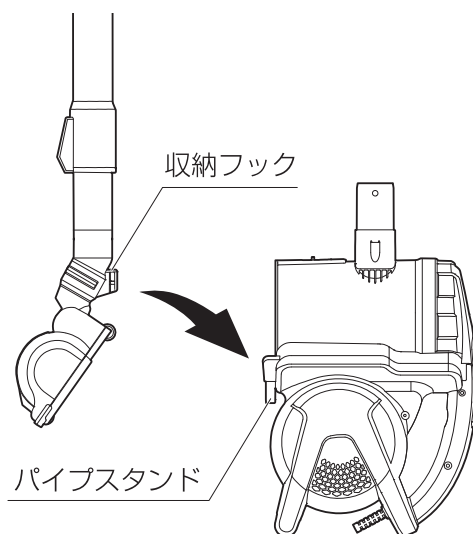
- ご使用が終わったら電源コードは、必ず片付けてください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとけがの原因になります。
- 延長パイプを収納フックに差し込んだ状態のままで持ち運ばないでください。パイプやフロアヘッドが落下し、床面を傷付けたり、けがをするおそれがあります。

1 本体から延長パイプを取り外し、本体を立てます。

電源コードを本体に巻き付けることができます。

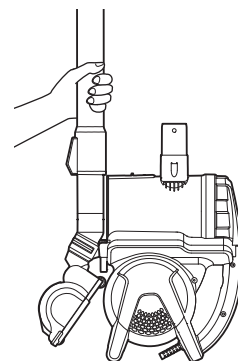


2 フロアヘッド側の収納フックを、パイプスタンドに差し込みます。



注意

パイプを持って持ち運ばないでください。
本体が落下し、破損・けがをするおそれがあります。

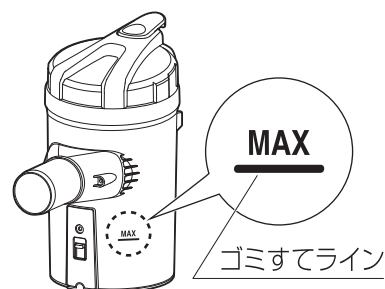


ゴミの捨てかた

■ダストカップからゴミを捨てる

⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上ゴミをためないでください。吸引力が低下します。
- ゴミはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからゴミを捨てる際には、必ず電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体運転中にダストカップを取り外さないでください。



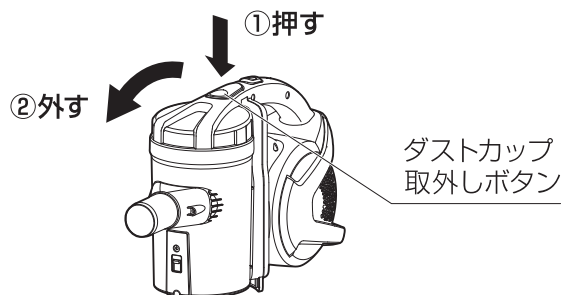
1 延長パイプを本体から取り外す

延長パイプの「合わせる ▶」を本体の「◀」の位置に合うまでまわし、延長パイプを取り外す。



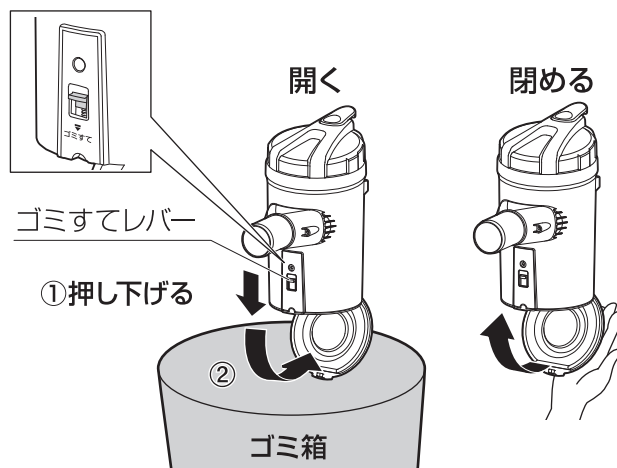
2 ダストカップを取り外す

ダストカップ取外しボタンを押しながらダストカップを本体から取り外します。
ボタンを押さずに無理に取り外さないでください。



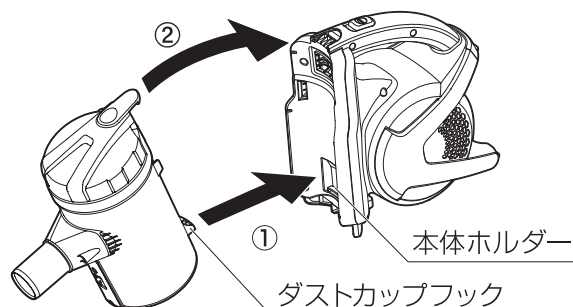
3 ゴミを捨てる

吸い込み口下部分のゴミすてレバーを下方向に押し下げます。
底ぶたが開き、ゴミを落とすことができます。
最後に手で底ぶたをしっかりと閉めてください。



4 ダストカップを本体に取り付ける

ダストカップフックを本体ホルダーに引っかけ、カチッと音がするまで押し込みます。



お手入れのしかた



警告

●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

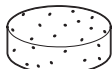
●ダストカップやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったら使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

特に、「排気フィルター」と「スポンジフィルター」は、最低1ヶ月に一度は表と裏のみぞにあるほこりや汚れをきれいに落としてください。

※1ヶ月は目安です。ゴミの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



排気フィルター



スポンジフィルター(上)

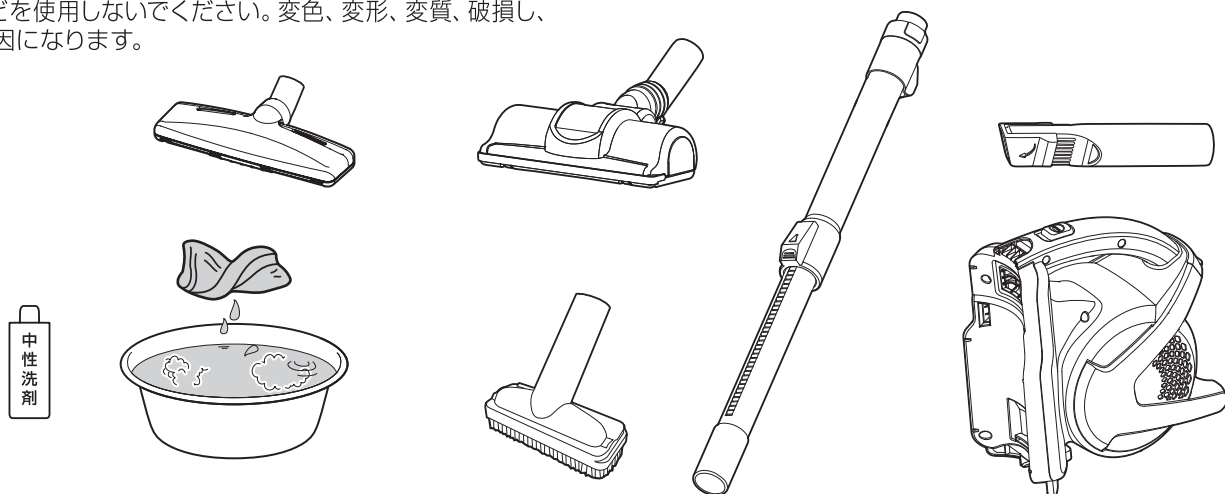


スポンジフィルター(下)

■本体、付属品のお手入れ

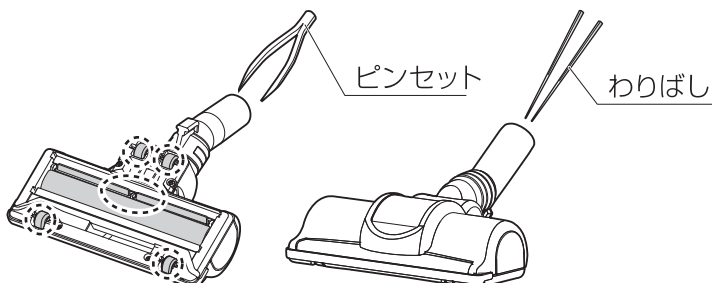
布に水または薄めた中性洗剤を含ませ十分によく絞ってから拭いてください。

※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。



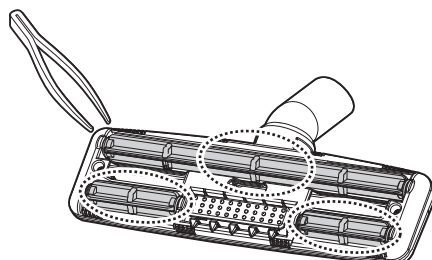
■フロアヘッドのお手入れ

- 部からみついた毛・糸くずはピンセットなどで取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、十分によく絞ってから拭いてください。
- フロアヘッド内部にゴミがたまり、吸引力が落ちる場合があります。わりばしやピンセットで定期的に取り除いてください。



■ふとんヘッドのお手入れ

ヘッド裏のゴミを取り除いてください。毛や糸くずなどが回転ローラー部からまっまっている場合は、はさみなどで取り除いてください。汚れが落ちない場合は流水で汚れを落とし、十分に乾燥させてから使用してください。

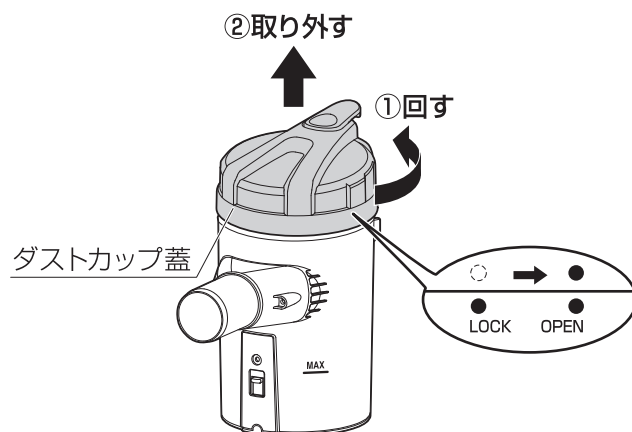


■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す (P10参照)

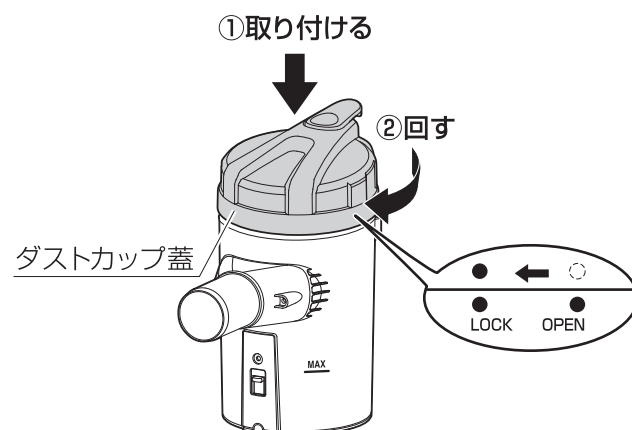
2 ダストカップ蓋を取り外す

ダストカップ蓋の「●」が「●OPEN」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り外します。



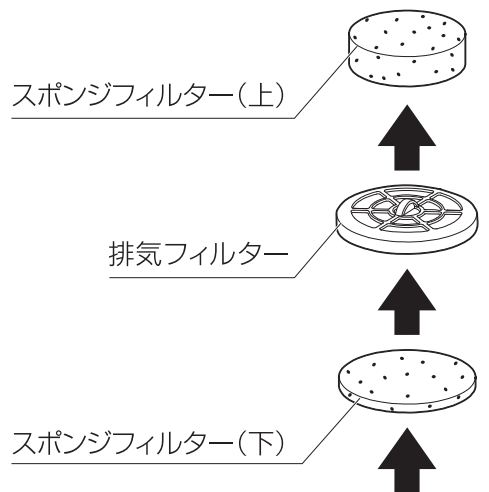
<ダストカップ蓋を取り付ける場合>

ダストカップ蓋の「●」を「●OPEN」の位置に合わせ取り付け、「●」が「●LOCK」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り付けます。



3 フィルター類を取り外す

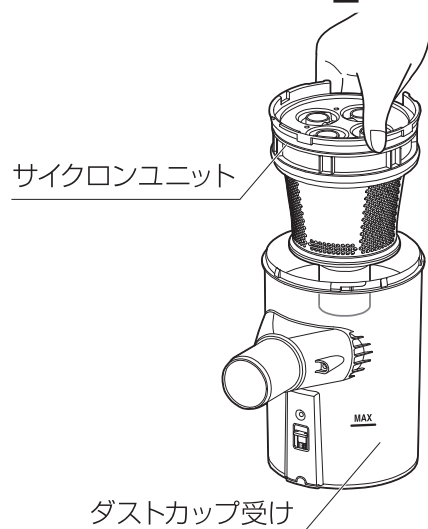
※スポンジフィルター(上)は、ダストカップ蓋の内側から外してください。



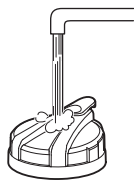
4 サイクロンユニットを取り外す

5 ゴミを取り除く

各部品を軽くたたきながら、ゴミを落とします。



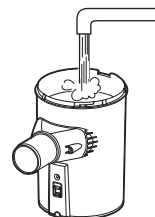
6 水洗いをする



ダストカップ蓋

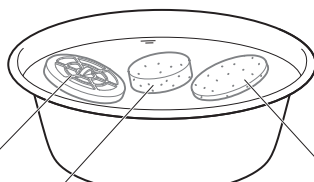


サイクロンユニット



ダストカップ受け

流水で汚れを落としてください。



排気フィルター

スポンジフィルター(上)

スポンジフィルター(下)

フィルターは、水で薄めた中性洗剤でもみ洗いしてください。洗った後はよくゆすいで、しっかり乾燥させてください。

7 本体に取り付ける

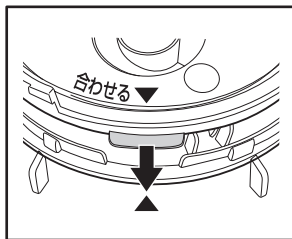
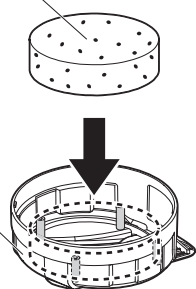
十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。

このとき、スポンジフィルター(上)は、ダストカップ蓋の内側に、あらかじめ差し込んでおいてください。

※サイクロンユニット側の「▼」とダストカップ受け側の「▲」を図のように合わせて取り付けてください。

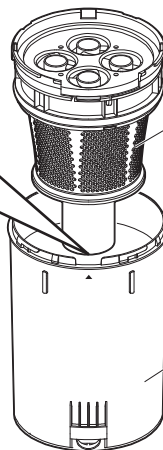
スポンジフィルター(上)

ダストカップ蓋



サイクロンユニット

ダストカップ受け



注意

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続し、電源スイッチを再度入れる	●P6参照
	●フィルター類にゴミやホコリがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	●P14参照
吸引力が弱い	●フロアヘッド、延長パイプ、ノズルが詰まっている ●ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミがある ●フィルター類にゴミやホコリがたまっている ●ダストカップが本体にきちんと取り付けられていない	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●ダストカップのゴミを捨てる ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、フタの状態を確認する	●P10、11、12、13参照
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●吸込口やノズルに大きなゴミが詰まっている	●詰まっているゴミを取り除く	
本体やハンドルが温まる	●モーターの発熱により温かくなりますが、異常ではありません		

保護装置について

フィルターや延長パイプが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置の仕方>

1. 本体の電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ダストカップのゴミを捨て、フィルター類をお手入れする。(取扱説明書P10～13参照)
3. フロアヘッド、延長パイプなどが詰まっていないか確認する。
4. 涼しい場所におく。

約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

- ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	質 量	約2.5kg (フロアヘッド、延長パイプ含む)
消 費 電 力	550W	本体寸法	幅126×奥行352×高さ215mm
吸込仕事率	60W		
集 塵 容 積	0.35L	コード長	4.8m

セット内容

掃除機本体 フロアヘッド(1個) ふとんヘッド(1個) すきまノズル(1個)
小型ブラシ(1個) 延長パイプ(1本)
スポンジフィルター(上)／排気フィルター／スポンジフィルター(下) (各1個本体セット済み)
取扱説明書(本書)

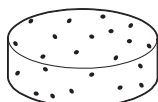
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

消耗部品について

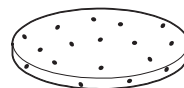
排気フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、当社アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター(上)



スポンジフィルター(下)

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理致します。

補修用性能部品の保有期間について

弊社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

3WAYスティッククリーナー IC-S55KF

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お 客 様	ご芳名		
	ご住所 〒		
	電話 () -		
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

製品に関するお問い合わせは **アイリスコール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは **修理専用コール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0800-170-7070

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510

ホームページ

仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

<http://www.irisohyama.co.jp/>

181214-GTO-WYT-01

P181214-GTO-WYT-01